

日本に住む全世帯参加の
国勢調査はじまります。



回答義務



ひとり暮らしの方の自安



Let's Join!! #みんなの国勢調査

調査書類をお届けします



インターネット回答期間

9/14(月) → 10/7(水)

調査票(紙)での回答期間

10/1(木) → 10/7(水)

かんたん便利な
インターネット回答



国勢調査2020

<https://www.kokusei2020.go.jp/>

総務省統計局・都道府県・市区町村

国勢調査とは

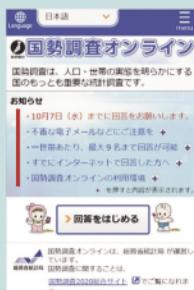
△5年に1度の調査です△

10月1日基準で、日本に住んでいる全ての人を対象とした調査です。調査の結果は国や行政施策のデータとして利用されます。インターネットや郵便で回答してください。

インターネット回答がお薦めです

インターネット回答には次のような利点があります。

- 調査期間中(9/14(月)～10/7(水))は24時間いつでもスマートフォンやパソコンから回答ができます
- 紙の調査票の提出は不要です
- わずか10分で回答ができます



国勢調査の流れ

■書類の配布

9月から調査員が各世帯を訪問し、書類を配ります。今回は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、調査員がインターネット越しに調査の説明を行い、書類を郵便ポストに入れます。数回訪問しても不在の場合は書類を郵便ポストに入れます。

■回答の仕方

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、インターネット回答を推奨しています。また紙の調査票で回答する場合は、専用の郵送用封筒に入れ、ポストに投函してください。

インターネット回答期間 9/14(月)～10/7(水)

郵送の回答期間 10/1(木)～10/7(水)



国勢調査を装った詐欺や不審な調査に注意してください。調査員は「調査員証」を携帯しています。※国勢調査では金銭を要求したり銀行口座やクレジットカード番号を聞いたりすることはできません

問 情報管理課(0928-1013) ID195350



台風の時季に備えて

1923年9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れないよう、1960年に9月1日を「防災の日」として、1982年に8月30日～9月5日を「防災週間」として制定しました。これから台風などの災害に備え、本市の取り組みを紹介します。



国・県と連携した浸水対策

問 港湾河川課 (0928-1141) ID197992

平成30年7月豪雨時、本市で初めて大雨特別警報が発表されました。これまでに経験したことがない記録的な大雨により、市内全域で浸水面積約2,000ha、床上浸水約1,300棟に及ぶ甚大な被害が発生しました。

被災後直ちに国・県・市などで「福山市域における浸水対策協議会」を立ち上げ、被害状況や発生要因を検証し、2019年2月に「浸水対策に係る行程表」を取りまとめました。

当面の対策として昨年度までに、河川・水路の樹木伐採や土砂撤去、水位計の設置などを実施しました。また早期に実施可能な取り組みとして仮設ポンプの設置や排水ポンプ車の配備、止水板設置補助制度を創設しました。

現在は中期・長期の対策として河川改修や雨水幹線、ポンプ場、雨水貯留施設などを整備しています。

今後も頻発する自然災害への備え強化のため、行程表に基づき、国・県と連携し浸水対策に取り組みます。



仮設ポンプ(吐き口)
仮設ポンプ(のみ口)

東深津町に雨水貯留施設完成!

手城川流域の新たな対策として雨水貯留施設が完成しました。浸水被害が発生する地域の被害軽減のため、東深津町にある市有地を活用。一般的な25mプール(25m×12m×1m)約27杯分に当たる8,000m³の雨水を一時的に貯留することができます。



完成前



完成後

7月上旬の大暴雨では約6,000m³の雨水が貯水され、周辺の家屋浸水は発生しませんでした。



避難行動要支援者 避難支援制度

問 福祉総務課 (0928-1045) ID195748

災害時、自力で避難することができない高齢者や障がい者など(避難行動要支援者)の避難支援を、住民相互の助け合いによって行う制度です。

支援を受けたい人は、市の避難行動要支援者名簿に登録が必要です。登録した人の情報は避難支援体制が整った学区に提供されます。登録した人と学区が相談の上、避難支援計画を作成します。詳しくは担当の民生委員・児童委員または福祉総務課に相談してください。



避難支援の対象者

在宅で生活をし、自力での避難が困難で、災害時の避難に支援が必要な次のいずれかに該当する人です。

- 一人暮らしの高齢者(75歳以上)
 - 高齢者のみの世帯(2人以上で全員が75歳以上)
 - 介護保険の要介護3以上の認定を受けている人
 - 身体障がい者手帳1級または2級を所持する人
 - 療育手帳マルAまたはAの判定を受けている人
 - 精神障がい者保健福祉手帳1級を所持する人
 - その他支援が必要と認められる人
- ※家族や近隣の人と事前に相談し、自分たちで避難が十分可能と判断した人は登録の必要はありません

フレイルサポーターを募集します

問 健康推進課(☎928-3421) □197604

フレイルとは加齢とともに筋力や心身の活力が低下し、要介護状態の危険性が高まった状態のことです。フレイルサポーターになって、地域でのフレイル予防に取り組んでみませんか。

■フレイルサポーターとは?

月2回程度開催するフレイルチェック会を行うボランティアで、高齢者のフレイルチェックの結果に応じてフレイル予防に継続して取り組めるように応援する人です。

■フレイルチェックとは?

「栄養(食・口腔機能)」「運動」「社会参加」の面から測定と質問用紙を用いて総合的にフレイルの状態を判定します。

対 フレイル予防の取り組みに熱意と关心がある人、フレイルサポーター養成講座(11月に3回程度開催予定)を受講し月2回程度フレイルチェック会で活動できる人、市内全域で活動ができる人

定 20人程度※選考

△申込書配付場所…健康推進課、各支所・公民館など※電子版広報からもダウンロード可

申 9/14(月)~10/22(木)(必着)に、所定の申込書を、同課へ

フレイルサポーター希望者講習会

地域でのフレイル予防活動について学びます。

※新型コロナウイルス感染症の発生状況により変更する場合があります

時 10/15(木)13:30~15:30

所 エフピコアリーナふくやま

内 地域におけるフレイル予防の推進について、フレイル予防の基礎知識、フレイルチェックとは?

▽講師…飯島勝矢さん(東京大学高齢社会総合研究機構教授)

対 フレイル予防に関心がある人※フレイルサポーターへ応募済みの人や応募を検討している人は必ず受講してください

定 50人程度※先着

申 9/30(水)までに、同課へ



認知症について知っていますか

問 高齢者支援課(☎928-1065) □195842

9/21(月)は「世界アルツハイマーデー」

世界アルツハイマーデーは、アルツハイマー病などに関する認識を高め、世界の患者や家族に援助と希望をもたらすことを目的として制定されました。本市においても9月を中心にさまざまな活動が行われています。

認知症は誰でもなる可能性がある病気です。この機会に認知症について正しく知り、早めに相談をしましょう。

早めに相談してください

気になる事や困り事がある場合は、近くの地域包括支援センターや認知症地域支援推進員に早めに相談してください。

■地域包括支援センター

介護や認知症に関する相談窓口です。認知症の人や家族だけでなく近所に住んでいる気になる人の相談など、幅広く受け付けています。

■認知症地域支援推進員

認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう地域づくりの手伝いをします。

認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する「応援者」になりませんか。

時 所 9/25(金)13:30~15:30・福山すこやかセンター

内 認知症の正しい理解と対応方法

定 30人※先着

申 問 健康推進課(☎928-3421)

認知症の人や家族の交流の場

○福山地区認知症の人と家族の会…認知症の人の理解を深め、家族同士が認知症介護の情報交換を行い、悩みを共有する場

○陽溜まりの会東部…若年性認知症の人と家族、医療・介護関係者などが情報交換や交流を行う場

○男性介護者の集い…男性介護者による情報交換や悩みを語り合い交流する場

問 福山地区認知症の人と家族の会(服部☎080-1928-6837)

認知症カフェ

認知症の人と家族や地域の認知症に関心のある人などが気軽に集まり、情報交換や活動をする自由な場です。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、市内18カ所で実施しています(7/1時点)。日時や場所については高齢者支援課に問い合わせてください。